

学校だより

2023年5月から6月までの 資格試験一覧

- この期間に日専校生が取り組んだ資格・検定試験の一覧を記載する。
- 5月22日 溶接技能者評価試験 (JIS検定) (3年溶接科)
- 6月9日 機械製図検定一次 (3学年選抜者)
- 6月16日 計算技術検定 (全学年)
- 6月23日 情報技術検定 (3年電気科)
- 6月29日 技能照査実技 (3年機械科)

新体力テスト

自分の限界に挑戦

5月10日に新体力テストを全学年で実施した。当日は身長・体重などの身体測定と50メートル走、立ち幅跳び、ハンドボール投げの屋外種目、そして反復横とびや長座体前屈などの体育館種目を行った。さらに通常の種目に加え、日専校独自の学校特別指定種目である腕立て伏せ、垂直跳びも行った。20メートルシャトルランは、翌日以降の体育の授業内で実施した。生徒たちは体育や部活動で鍛えた運動の成果を大いに発揮し、自分の限界に挑戦してい



た。食欲に記録に挑戦する姿は立派であった。

職員工場訪問

「モノづくり」を志し日専校に入

学した生徒たちは、3年間勉学・実習・部活動に励み卒業していく。例年5月、日専校の職員が入社1・2年目の卒業生を対象とし、実際にモノづくりや技能五輪訓練を行っている職場を訪問する。充実した社会生活が伺えるような引き締まった表情、指導員や上司が同席しての面談に緊張した面持ちなど、在学中とは異なった様々な顔を見せてくれる。実習期間を終え、社会人として毎日が精一杯な1年目。無我夢中だった昨年に比べ、冷静に自分の置

3年溶接科溶接技能者

評価試験 (JIS検定)

かかっている立場や状況が理解できつつある2年目。それぞれに相応の成長が感じられ頼もしく思う。指導して下さる周りの方々、支えて下さっている同窓生の皆様への感謝を常に忘れず、今後ますますの飛躍を期待したい。

5月22日、本校の溶接実習場を会場に日本溶接協会「溶接技能者評価試験 (JIS検定)」が茨城県溶接協会の主催で開催された。この評価試験は新規受験者のほか、資格更新のために溶接技能の確認を行う試験であり、一般社会人 (数名の本校卒業生も含む) と3年溶接科の生徒11名を合わせた総数約80名が受験した。



避難訓練

本校生徒は既に昨年10月に手溶接基本級 (A-2F) と半自動溶接基本級 (SA-2F) の資格を取得している。今回は新たにステンレス鋼溶接基本級 (TN-1F) と半自動溶接専門級 (SA-2V) の2種目を受験した。ステンレス鋼溶接は表側より溶接し、裏側に膨らみを持たせた裏波の形成、半自動溶接専門級については立向き溶接のため弱い溶接電流を使用し、規程の溶け込みを得なければならぬ等、両種目とも難易度が高い。また、試験本番では立会人や大勢の受験者が同席するなど緊張感があるなか、手の震えが出てしまったなどの若干のミスが見られたが、提出した実技課題は普段行っている実習の成果を出すことが出来ていた。試験の可否は学科と実技作品の外観検査、曲げ試験の結果で判定し、7月末に発表される。全員の合格を願っている。

6月2日に日専校にて避難訓練を実施した。同訓練は6月と2月に計2回実施している。今回は午前10時35分にマグニチュード7の直下型の大地震が起こり、校内では壁や天井が崩落し、更に溶接実習棟にて火災が発生したことを想定して行った。この災害・火災状況を、校内放送にて学校・寮職員及び生徒に周知させ、各々自身の安全を確保しな



がら指定場所へと避難する。加えて、日立消防署の協力をいただき、職

関東高等学校

ソフトテニス大会

6月2日から4日の期間で、関東高等学校ソフトテニス大会が千葉県長生郡白子町の白子町サニーテニスコートにて開催された。白子町テニス村は、テニスコートが約300面 (正式な面数は不明) あるソフトテニスのメッカで、国内の主要大会も数多く開催される。本県代表として出場した本間威風 (3年機械科) ・鈴木

(6頁へ続く)

(5頁の続き)



玲音(2年機械科)ヘアだが、代表の中でも下位での位置づけのため組み合わせが厳しかった。1回戦で前衛が1年生ながら県代表の渋川高校(群馬)ヘアに勝ち、2回戦で強豪・木更津総合高校ヘア(千葉2位)をゲームカウント4-2で破った。シード選手に勝つたため勝ち進むことが期待される中、3回戦で昨年度インターハイ団体に出場している昌平高校ヘア(埼玉5位)に勝って4回戦に進出した。その4回戦では秦野高校ヘア(神奈川3位)に1-3とリードされるが、3-3のファイナル(硬式のタイブレーク)まで追いつく。一時リードし勝ちも見えたが、相手の我慢と攻撃への転換が上回り惜敗となった。結果、140ペア中ベスト32という結果であったが、平成30年に出場の際は初戦敗退昨年度(本間は2年連続出場)は3回戦敗退である中、強豪に勝って4回戦まで進めたことは大きな自信となった。選手層や練習環境で大きな差がある中、そのような勝負ができ

前期中間試験

たことはなかなか経験できることではない。今後の人生や会社生活に活かして欲しいと思う。

日専校は二期制であり、年間に定期試験が前期と後期に各2回ある。6月8日、9日の2日間、今年度最初の定期試験の前期中間試験を実施した。試験は各科目で40点以上が合格、未滿だと不合格で再試験となる。また、総得点を科目数で割った平均点で45点以上が合格となる。定期試験では毎回1週間前になると、試験準備期間と称して学校や寮では受験の雰囲気になる。特に1年生にとっては入学して初めての定期試験であり、高校からの新しい科目がほとんどで、早めに試験勉強に取り組んでいたようである。2、3年生では、クラスや部活動単位での学習会の実施や、教え合う雰囲気があり、こうしたところでも学校の重要取り組みである「考動アクション」の実践が活かされている。試験は終了次第教員により採点され、生徒へ返却後に各教科の得点が確定される。その結果は後日、ITサポートシステム「Classi」を通じて保護者の皆様へ報告する。

1年生成沢霊園戦災殉職者慰霊

6月9日13時半から、日立事業所



の「戦災の日(6月10日)」に先立ち、1年生による成沢霊園への慰霊参拝を実施した。日専校から成沢霊園までは徒歩で移動。現地で戦災の説明を受けた後、「諸精霊之碑」および戦没者氏名が記された「陶輪碑」に参拝し、戦没者慰霊を行った。この慰霊参拝を通して生徒たちは、日立の戦災の歴史を知るとともに、平和のありがたさを実感している様子であった。時代とともに戦争の記憶がうすれゆくなか、日専校の生徒たちには平和への思いを新たにしてもらうため、今後も成沢霊園への慰霊参拝は継続していく。

GLS(多賀)での日専校説明会

6月2日に日立グローバルソリューションズ多賀事業所に

て日専校の学校説明会を開催した。今年度より開始した各事業所における説明会だが、GLS(多賀)は4事業所目。日専校から最も近い位置にある事業所であるため、従業員の関心の高さが期待された。しかし、当日は台風2号の接近によるあいにくの荒天で直前までリスケジュールの必要も頭によぎったが、始まってみれば愛ある卒業生をはじめ10名以上のご来場をいただくことができた。7月からは本校で計4回のオープンスクールが開催される。中学生のお子さんがいる方は、ぜひ懐かしい母校を我が子とともに訪れてみてほしい。

トヨタ工業学園交流会

6月13日から14日にかけて、日専校でトヨタ工業学園と交流会を



実施した。トヨタと日立、双方の成長につながる機会作りを目的とし、職場で即戦力になるために何が必要かを考え、日常の取り組みにつながることを目標とした。いままでの交流会から具体的に取り組んできた内容の共有と、振り返りを実施した。グループディスカッションでは、生徒会、寮役員、部活リーダーと3つのカテゴリーに分かれ、活発な意見交換をした。次に繋がる新たな目標を決め、日常生活での実践に繋げていく。今後も定期的に交流会を重ねていき、日専校生としての「あるべき姿」に近づけていきたい。

2年機械科 栗林 佳奈

私は今回のトヨタ工業学園との交流会を通し、実際に今の自分に不足している力は何か気づくことができました。質問力や行動力、目上の方に対するのコミュニケーション能力、気配りの大切さ、他にも多くのことに気づくことができました。ミックス交流では緊張してしまい、一つしか質問することができませんでした。しかし、先輩方は指導員の方々と程よい緊張感を持ち、深い話をしており、先輩を尊敬するとともに自分もそうなりたいと思いました。生徒同士では、ディスカッションを行い、日専校との相違点を知り、視野を広めることができました。また、移動

(7頁へ続く)



(6頁の続き)
 中の手すりを使つての階段の昇り降りや、KYTシート作成時の案を考へる早さからは、安全の意識が高いことが自然と感じとれました。また、団体規律訓練を見せてください、全員の動きが揃い、キレのある訓練を見ることができました。他にも起立した際の手の状態や発表の仕方など、また異なる雰囲気があり、多くの場面で良い影響を受けることができました。二日間という短い時間ではありましたが、普段、経験することのできない貴重な時間を過ごすことができ、これからまだまだ成長できることが沢山あることに自ら気づくことができました。これからの学校・寮生活では、気づいたことを自分の

成長に繋げられるよう、今までの自分を振り返り、日専校での日々をより充実したものにしていきたいです。また、交流会に参加できる機会があれば是非参加したいと思ひます。

3年機械科 佐野 鼓太郎

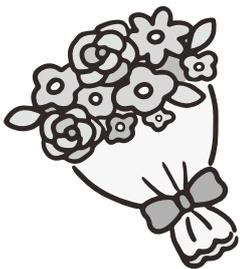
トヨタ工業学園との交流会を通して、自分が気づいたことは事前準備の大切さと目配り気配りの難しさです。今回の交流会では、主に自分が指揮を取って、事前準備から進めさせていただきました。以前に先生方から、「段取り八分」という話を聞いていて、とにかく抜けのない準備を心がけました。5W1Hを使用し準備を進めると、当日の様子が頭の中で見えて来て、色々なことを予測した準備が進められることに気が付きました。そのおかげで二日間大きな問題もなく、交流会を進行できたのだと思ひます。また、二日間の中で事前の予測が立てられていないこともいくつか起こりました。少し焦ってしまうことがあり、判断を見誤つてしまひそうになりましたが、周りのコミュニケーションが取れていたおかげで、正しい判断をすることができました。今回の交流会は自分の中で、はじめての体験が多く、学ぶことだらけでした。それを無駄にしないように、日々の生活から学んだことを実践していきます。これからもしつかりと頑張っていきます。

離任者紹介



和田 直樹先生
 出身事業所…
 日立Astemo
 (株) 佐和工場
 担当…機械実習

2008年に日専校に赴任してから約15年、高等課程、専門課程の担任を経験させていただきました。情熱あふれる先生方と共に、本当に楽しく充実した毎日をお過ごしすることが出来ましたこと、心より厚くお礼申し上げます。沢山の生徒たちに出会い、沢山の時間を過ごす中で、喜び・悲しみ・考え・行動し、人間として成長させていただきましたし、教職員の皆様、保護者の皆様など、沢山の方々に支えられ、無事この日を迎えることができました。本当にありがとうございました。今後は日専校の1ファンとして陰ながら応援して参ります。そして日専校が益々栄えることを祈念しています。



2023年度 日専校工場担当

氏名	工場担当
佐久間 健	(株)日立製作所 鉄道ビジネスユニット 水戸事業所
萩谷 嘉昭	(株)日立製作所 鉄道ビジネスユニット 笠戸事業所
鈴木 善勝	(株)日立製作所 原子カビビジネスユニット 日立事業所
鈴木 秀一	(株)日立製作所 エネルギービジネスユニット 日立事業所
溝口 和雄	(株)日立製作所 サービス&プラットフォームビジネスユニット 大みか事業所
豊田 裕樹	(株)日立製作所 サービス&プラットフォームビジネスユニット 大みか事業所
秋元 利之	日立Astemo(株) 佐和工場
相良 浩	日立Astemo(株) 群馬工場
飯塚 賢一	日立Astemo(株) 厚木工場
金澤 章	日立Astemo(株) 山梨工場
杉山 浩	(株)日立インダストリアルプロダクツ 日立事業所
鈴木 巧	(株)日立インダストリアルプロダクツ 土浦事業所
齊藤 慎	(株)プロテリアル 茨城工場
細金 敦	日立グローバルソリューションズ(株) 栃木事業所
鈴木 常勇	日立グローバルソリューションズ(株) 多賀事業所
松島 清美	日立建機(株)
松崎 修	(株)日立産機システム 勝田事業所 多賀事業所
真田 正孝	(株)日立ハイテク 那珂地区
小室 尚子	(株)日立ハイテク マニファクチャ&サービス
高橋 秀和	(株)日立ハイテク マニファクチャ&サービス
秋元 利之	(株)日立パワーソリューションズ
五来 稔	(株)日立プラントストラクチャー
遠島 充	(株)日立ビルシステム
湯ノ口 覚	(株)レゾナック 山崎事業所
南口 隆	(株)レゾナック 五井事業所
本名 和彦	(株)レゾナック 下館事業所
石塚 潤	(株)日立ハイテク フィールディング
	(株)日立ニコトランスミッション